



**真壁小児童4人が 1日警察署長**

全国秋の交通安全全期間中の9月30日(木)、桜川警察署(坂本恵署長)で、真壁小学校6年の佐藤春喜君、櫻井拓海君、榎戸健君、金子茂大君が1日署長を務められた。

佐藤君らは、交通安全子供自転車茨城県大会で優勝し全国大会に出場したことから今回の起用となりました。当日、坂本署長からの委嘱を受け、玄関前で全署員に「これからは交通事故防止活動をお願いします。」と、あいさつを行った後、パトカーに分乗し市内のパトロールへと出発しました。

**商工会青年部が清掃活動**

8月26日(木)、市観光名所の一つ雨引観音境内とその周辺で、桜川市商工会青年部(高橋良之部長)の皆さん26人がごみ拾いを行いました。

これは、商工会法施行50周年記念イベントの一環で行われたもので、全国の商工会青年部員が、同日・同時刻に各地域の清掃活動を行う「クリーンアップ全国大会」の中で実施されました。

「長きにわたり商工会を支えてくださった地域の皆様への感謝を込め実施しました。今後も、市内各所での実施を検討していきたい。」と、参加された皆さんは話していました。



商工会法施行50周年記念イベントで雨引観音境内とその周辺で清掃活動を行った商工会青年部の皆さん



**サマーコンサート inサンホーム真壁**

特別養護老人ホーム「サンホーム真壁」(下谷貝地区)で、入所者とその家族のみなさんに生の演奏を楽しんでもらおうと、第3回サマーコンサートが開催されました。

コンサートでは、現在活躍中の演奏家3人(ヴァイオリン/小山啓久さん、フルート/坂元理恵さん、ピアノ/歳森今日子さん)の方が、ボランティアで民謡や懐メロなどの演奏。みんなで合唱も行いました。

みなさんは楽しい時間を過ごしました。

また、会場にはボランティアの方々の方々の模擬店やバザーなどもあり、イベント盛りたくさんの楽しい一日になりました。

**霞ヶ浦水質浄化・下水道 接続促進キャンペーンを実施**

9月26日(日)、買い物客で賑わう俵力スミ岩瀬店で、地域住民の皆様へ水質浄化の意識を高めてもらおうと、霞ヶ浦と桜川の環境保全を推進する「霞ヶ浦問題協議会桜川流域ブロック」と下水道接続を促進する茨城県と桜川市が、水質浄化・下水道接続促進キャンペーンを実施しました。

近年、霞ヶ浦の水質汚濁は、流域人口の増加や経済活動の進展に伴い極めて憂慮すべき状況です。私たち一人ひとりが水質浄化に努め、公共下水道や農業集落排水に1日でも早く接続し、きれいな霞ヶ浦を取り戻しましょう。



市民の皆様へ水質浄化・下水道接続促進キャンペーンを行う(写真右から) 鈴木県下水道課長と中田市長

**小島茂之さん(元オリンピック選手) 坂戸小学校で陸上競技の実技指導**

9月28日(火)、坂戸小学校体育館で2000年シドニーオリンピック400メートルリレー6位入賞の小島茂之さんを講師に迎え「平成22年度スポーツ選手活用体力向上事業」(主催/文部科学省・(財)日本体育協会)が行われました。

これは、児童が陸上のトップアスリートとともに運動し、指導を受けることで陸上競技に対する興味や関心を高めようとするものです。同氏から「陸上競技の楽しさ」という講話と、ウォーミングアップの方法やゲームを取り入れた短距離走実技指導を分かりやすく指導を受けました。



児童たちは、小島さん(写真左)から速く走るための秘訣「腕を大きく振れば歩幅も広がります」を教わり真剣に練習していました。

**かぼちゃの重さを競う 「桜川かぼちゃ品評会」開催**

堤上地区の堤上生活改善センターで、丹精込めて育てた自慢のかぼちゃの重さを競う「桜川かぼちゃ品評会」が開催されました。今年で11回目を迎えるこの品評会には、32個のジャンボかぼちゃが持ち寄られ、結果、73kgのかぼちゃを育てた深谷理彰さん(堤上地区)が見事優勝。ほか「かぼちゃらしいで賞」「美肌で賞」「不細工で賞」などのユニークな賞もありました。

「今年は猛暑により生育が悪く、栽培には大変苦労しました。来年は、一層努力して更に大きなかぼちゃを作りたい。」と、参加者は意欲を燃やしていました。



堤上生活改善センター前には自慢のジャンボかぼちゃが勢ぞろいしました。

**桜川市民生委員児童連合協議会 設立5周年記念講演会**

10月3日(日)、大和ふれあいセンター「シトラス」を会場に、桜川市民生委員児童委員連合協議会が、群馬県助産師会 鈴木せい子会長を講師に迎え『いのちの講演会』と題して、設立5周年記念講演会を開催しました。

子どもたちの健やかな成長を願った「生きてるだけで100点満点」をテーマにした講演会には、市民の皆様や関係者約500人が参加。同氏の助産師として長年のうちに寄り添いながら、多くのいのちの誕生を見守ってきた現場の生の声に、参加者は真剣に耳を傾けていました。



鈴木さんの助産師として多くのいのちの誕生を見守ってきた現場の生の声に、いのちの大切さを教えられた講演会になりました。

**岩瀬ロータリークラブからおむつ交換台が寄贈**

10月5日(火)、岩瀬ロータリークラブ(三代克広会長)から、小児用おむつ交換台(1台)の寄贈が



ありました。

これは、岩瀬ロータリークラブの社会奉仕委員会の事業の一環として『地域密着型の奉仕活動を模索し、地域の「ために」から地域と「ともに」出来る奉仕活動を目指したい。』という、同委員会の活動方針・計画に基づき実施されたものです。

「今回寄贈していただいたおむつ交換台は、早速岩瀬福祉センター内に設置させていただき、市民の皆様にご利用していただけるよう配慮していきます。」と、市長。